

地域産業の担い手育成プロジェクト(農業分野) 平成21~22年度

『明日の埼玉農業を担う高度な技術と意欲を持つ人材の育成』 埼玉県

事業実施機関 埼玉県教育委員会 埼玉県地域指導農家協会 埼玉県農林公社
 連携省庁 農林水産省
 取組校 埼玉県立熊谷農業高等学校(埼玉県大里農林振興センター)
 埼玉県立杉戸農業高等学校(埼玉県春日部農林振興センター)



事業目標

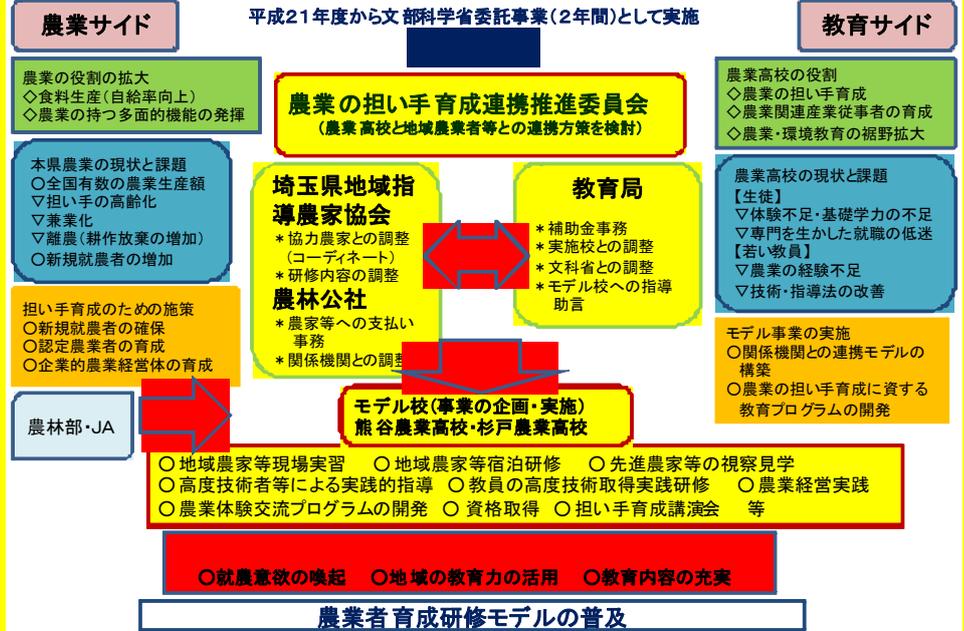
埼玉県における将来の農業の担い手育成を目指し、農業高校と農業関係機関が連携して実践教育を行うことにより、農業の担い手育成プログラムを開発する。

事業の概要

農業高校と地域の先進的な農家等が連携して、高度で実践的な技術を身に付けた人材を育成し、食・暮らしを支える地域産業の担い手育成モデルを構築する。

2校の実践をモデルに、新規就農者育成プログラムを開発し、他の農業高校への普及を図る。

埼玉県事業名:「食・暮らしを支える地域産業の担い手育成プロジェクト事業」



事業内容と成果

生徒の現場実習

●内容

- ◇インターンシップの推進(3~5日間)
 - ・杉戸農業高校は1年生全員を対象に実施した。熊谷農業高校は生活技術科を除く1年生全員を対象に実施した。
- ◇現場実習の推進(3~15日間)
 - ・将来農業自営や関連産業への就職を志す者のうち、希望する生徒(2・3年生)を対象に、杉戸農業高校で実施した。

●成果

- ・現場での実習をとおして、学校と異なる環境の下で自立して行動できる態度・価値観を育むことができた。1年生には職業意識の向上が見られ、2・3年生には専門的知識・技能を獲得する場となった。
- ・多くの教員が受入農家等への巡回指導を行い、地域をリードする農家と係わる機会も増え、農業高校へのニーズを知る機会となった。



先進農家等への視察研修

●内容(農家・試験研究機関・関連企業等への等への現場見学)

- ・熊谷農業高校は2・3年生の専攻学習の一環として専門分野の授業に位置付けて実施した。杉戸農業高校は1年生全員を対象に、各専門分野の導入学習の授業に位置付けて実施した。
- ・将来就農を希望する生徒を対象に、儲かる農業を実践する先進農家と農林総合研究センターを訪問し、本県農業の実際を学んだ。

●成果

- ・生産現場に直接足を運んだことで地域の農業を取り巻く社会状況を目の当たりにし、職業人としての自己学習力の必要性を学んだ。



高度技術者等による学校での実践的指導

●内容(主な実践的指導)

- ・先進農家、高度熟練技能者、試験研究機関技術者による実践的指導
水稲栽培 路地野菜栽培 果樹栽培 洋ラン栽培 園芸装飾
園芸療法 豚枝肉の解体 醗酵微生物の分離・管理
農業機械の整備 造園計画・設計・施工 樹木の移植 測量
パン・菓子の製造 フラワーアレンジメントの製作 など

●成果

- ・先進的な農業経営を実践する認定農業者や高度な熟練技術・技能を持つ方々と接することにより、学校に居ながらにして生産現場等で必要とされる実践的な技術・技能を学ぶことができた。
- ・理論的な内容や専門技術の要点、勘所を直接指導してもらうことで、知識と技術の統合を図ることができた。
- ・多くの生徒がプロの経験と技術に感動し、仕事への理解や地域産業への興味関心が深まった。
- ・将来の進路選択に対する一抹の不安を克服することができた。



造園施工技術の習得



食肉業者から枝肉解体を学ぶ

教員の高度技術習得研修

●内容(主な研修先と研修内容)

- 農家、農業関係研究機関、農業関連団体、農業関係大学、農機具店、農産物直売所、造園業者、測量事務所、食品製造会社、製パン業者、
・県奨励品種の栽培技術習得(水稲・なし・きのこ・シクラメン)
・野菜(果菜類)栽培技術の習得
・トラクターの運転操作及び点検整備の技術習得
・授業改善のための教材作成(食品製造)
・和菓子(団子と桜餅)の製造技術の習得
・家畜商資格取得講習会、農薬セミナーへの参加(資格取得) など

●成果

- ・学校を離れ、教員自らが生産現場等で研修することで、企業マインド及び技術・技能が向上し、授業改善に大きな効果があった。
- ・資格取得・各種コンテストへの指導力が高まった。
- ・教員の専門分野の知識・技術の習得が図られ、指導力の向上、日常の教育活動の点検に大きな成果があった。



トラクター整備技術の習得

その他

●内容

◇農業経営実践

- ・農産物の生産から販売までの流通と経営について実践的に学び、生産技術の向上と経営の手法、経営分析について学習した。

◇農業体験交流プログラムの開発

- ・地元の幼稚園、小学校、特別養護老人ホーム等と共同で様々な農業体験を実践しながら、効果的な教育プログラムの開発に取り組んだ。

●成果

- ・農業経営実践により、生徒が自らの課題を認識し、学習意欲の向上を図ることができた。また、異年齢との交流の機会を積極的に設けることにより、コミュニケーション能力と社会性の向上に繋がった。



地元小売店での実践販売



田植え交流会

連絡先 ○埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課(産業教育担当)
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
TEL:048-830-6760 FAX:048-830-4959 URL:<http://www.pref.saitama.lg.jp/kyouiku/>
○埼玉県地域指導農家協会
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号(埼玉県農林部農業支援課内)
TEL:048-830-4051 FAX:048-830-4833 E-mail a4120@pref.saitama.lg.jp